

国際水準 GAP ガイドライン「指導マニュアル」の活用方法

今般、策定した「国際水準 GAP ガイドライン（以下、本ガイドラインという。）においては、従来の「食品安全」「環境保全」「労働安全」に、「人権保護」及び事業継続の観点から「農場経営管理」を加えた5分野を満たした「国際水準 GAP」の取組を推進します。GAPに取り組む農場、指導者、自治体関係者には、本ガイドラインを活用し、農場として管理する範囲の拡大、管理レベルの向上を更に目指してほしいと考えています。

「国際水準 GAP」の取組は、大規模農家だけに求められるものではありません。持続可能な取組として、JA や卸売業者が、飲食品メーカーや外食産業から根拠のある安全な原材料の提供を求められる以上、中小規模農家も例外ではないのです。中小規模農家には負担が大きい、メリットが見いだせない、といった理由で GAP に取り組まれていないケースもありますが、指導者はこうした背景を理解した上で、GAP の指導に当たりましょう。

小規模農家であっても、GAP に取り組むことで農場、事業の見える化が可能になり、後継者に継承しやすい環境が作れます。また、他の農場と共通の物差しを持つことで、仕入れコストの削減、整理整頓の実践など経営の改善にも役立ちます。

雇用を伴う法人経営では、労働環境の改善による作業効率の改善や従業員の責任感・主体性の育成、雇用の定着、外国人や障がい者の安全な雇用にも活用できます。これらを実現することで結果的に農産物等の安定供給が可能となります。また、リスクの低減活動に継続的に取り組んでいることは、金融機関等から融資や補助事業等の支援を受ける際に有利に働くことも期待できます。

本ガイドラインは、農場の工程順に取り組むべき事項を並べており、指導者が農業者を指導する際に使いやすいように、また農業者が GAP に実践しやすいように生産工程管理のプロセスに沿った構成としています。事務所、倉庫、ほ場といった場所ごとに確認すべきこと、農場の責任者が分担して管理すべきことが項目ごとにまとめられています。これにより、民間で行われている GAP 認証にスムーズに移行することを可能にしています。

ただし、これらは GAP に取り組むことによって得られる効果、結果でしかありません。

指導者は、そもそも GAP は「良い農場」を実現するための「やり方」を示したものであって、それぞれの農場がどのような農場を「良い農場と考えているのか」が重要であることを理解しましょう。それぞれの農場に、自らの目標を「農場運営の方針」として明らかにし、判断に迷った時の基準、指針として活用させるところからスタートします。どうして GAP に取り組むのか、どのような農場にしたいのか、そのために何をすべきかを考えさせ、農場が目指す方針を定めることが第一歩だと心得てください。方針もなく GAP に取り組むと、GAP の項目にばかり目を奪われ、それ以外のリスクを見落とししたり、逆に項目に記載がないことを根拠に不適切な管理を続けてしまうことにもなりかねません。そうした事態を避けるためにも、目指す農場の姿を明らかにすることが大切です。

よって、「指導マニュアル」の記載内容をそのまま実行させる、取り組ませるような指導は避けましょう。農場ごとに食品安全、環境保全、労働安全、人権保護及び農場経営管理の5分野において、抱えている、存在するリスクが異なります。指導に当たっては、各農場に本ガイドラインの項目＝工程ごとに、どのようなリスクがあるのかを探させ、考えさせます。その際に、リスクに気が付かない、思いつかないことを避けるために「指

導マニュアル」をヒント集として活用しましょう。また、農業は多分野にまたがる産業であり、多くの関連法令等が存在します。「指導マニュアル」を基に指導を進めるとともに、参考資料の「関係法令等集」を活用しながら、必要に応じて監督官庁、関係省庁、自治体等への確認等を行ってください。

実際の指導の場面では、「指導マニュアル」の順序通り、漏れがないか確認しても良いですし、それぞれの場所ごと、農薬や肥料のような管理対象ごとに、該当する場面の項目を紐解いても良いでしょう。指導の進め方も、いきなり5分野全ての取組が難しい場合は、期間を決めてひとつずつ出来る項目に取り組むことも問題ありません。GAPは「良い農場」に近づくための「道標」でもあり、着実に一步ずつ進めるのも有効な使い方です。国際水準GAPに取り組むことで、農場に、農産物の品質だけでなく、根拠ある安全性や管理能力の向上に基づく自信が徐々に生まれてくることでしょう。

指導者が農業者とともに「指導マニュアル」を手に現場を回り、リスクを抽出しながら対策を検討する、そんな指導に当たられることを期待します。

安心農業株式会社
藤井 淳生